

今市市街地地区

◆目標とする街並み

多様な魅力あふれるゲートタウンの街並み

◆まちづくりの心得

心得1 日光連山や杉並木、参道の景観を尊重しましょう

心得2 中心市街地としてにぎわいある商業景観をつくりましょう

心得3 ゆとりと落ち着きのある生活空間を創出しましょう

◆まちづくりの作法

作法1 駅からの眺望に配慮した建物高さとしましょう

作法2 建物は、道路から後退させて配置しましょう

作法3 建物等には、「和」のデザインを活用しましょう

作法4 建物の低層部は、店舗を連続させましょう

作法5 参道については、突き出し看板や工作物の設置は控えましょう

作法6 魅力的な店先空間を演出しましょう

※全地区共通のガイドラインと併せてご活用下さい。

心得 1

日光連山や杉並木、参道の景観を尊重しましょう

今市地区は、日光連山や杉並木、歴史を感じさせる社寺や建物など、魅力的な景観資源に恵まれています。また、多くの来訪者を迎え入れる日光市のゲートタウンでもあり、特に駅前空間や日光街道、中心商店街は日光の魅力を感じさせたい場所です。そこで、地域資源を尊重した景観をつくり、日光の魅力を伝えましょう。

心得 2

中心市街地としてにぎわいある商業景観をつくりましょう

日光市の中心商業地にふさわしい魅力的な空間を演出し、来訪者の回遊性を高めることで、にぎわいある雰囲気を出しましょう。

また、来訪者が安心・快適に買い物などを楽しめるよう、ゆとりある歩行空間の創出に努めましょう。

心得 3

ゆとりと落ち着きのある生活空間を創出しましょう

今市地区は、行政サービスや日常生活を支える諸機能が集積しており、生活利便性の高い、日光市の中心拠点として機能しています。

地区内の住宅については、安心で、落ち着きがある快適な生活空間を目指しましょう。

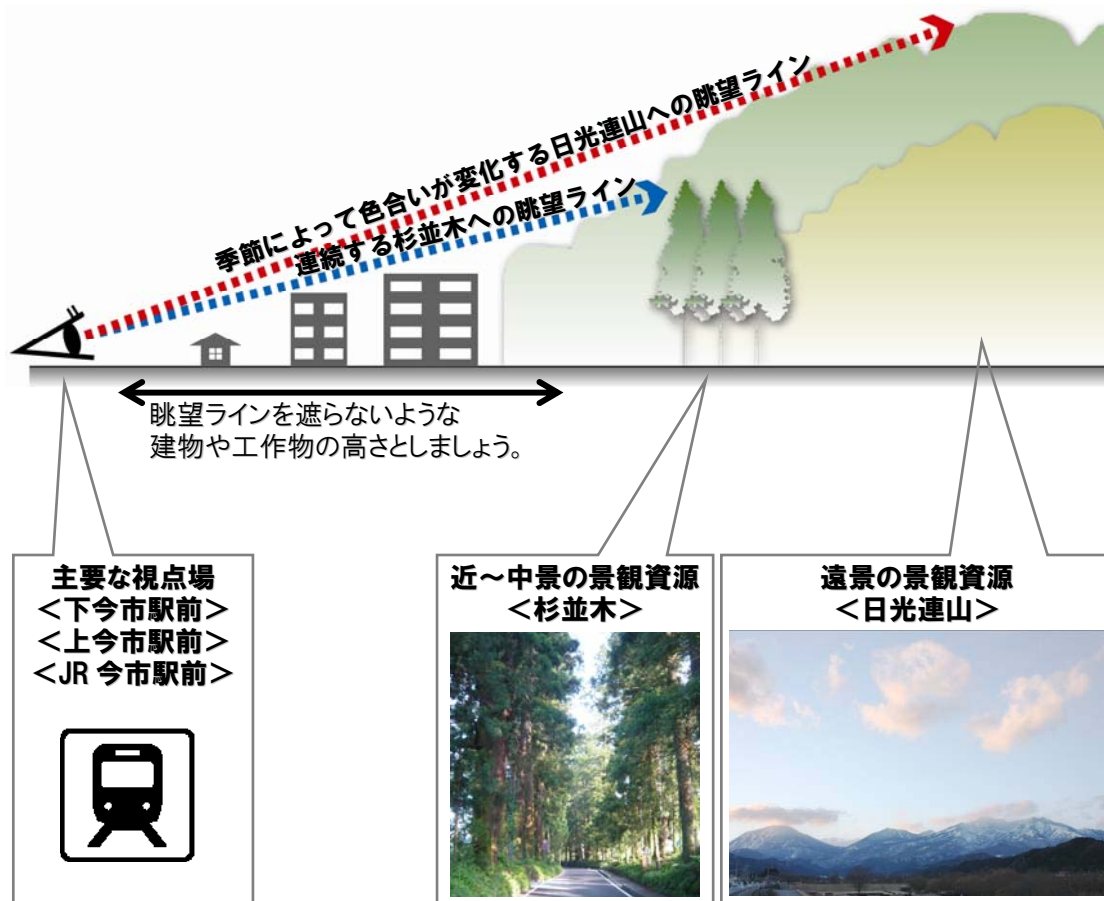
◆まちづくりの作法 ～「目標とする街並み」を実現するための具体的な方法～



作法1 駅からの眺望に配慮した建物高さとしましょう

■眺望と建物高さ

JR日光線、東武日光線の駅は、多くの来訪者が利用する日光市の主要な玄関口です。駅を降りたその時から日光の素晴らしさを感じてもらえるように、建物等の高さに留意し、駅前空間からの日光連山や杉並木への眺めを確保しましょう。



■現在の駅前空間からの眺望



▲下今市駅前から見た日光連山



▲今市駅前から見た杉並木



▲今市駅前から見た日光連山

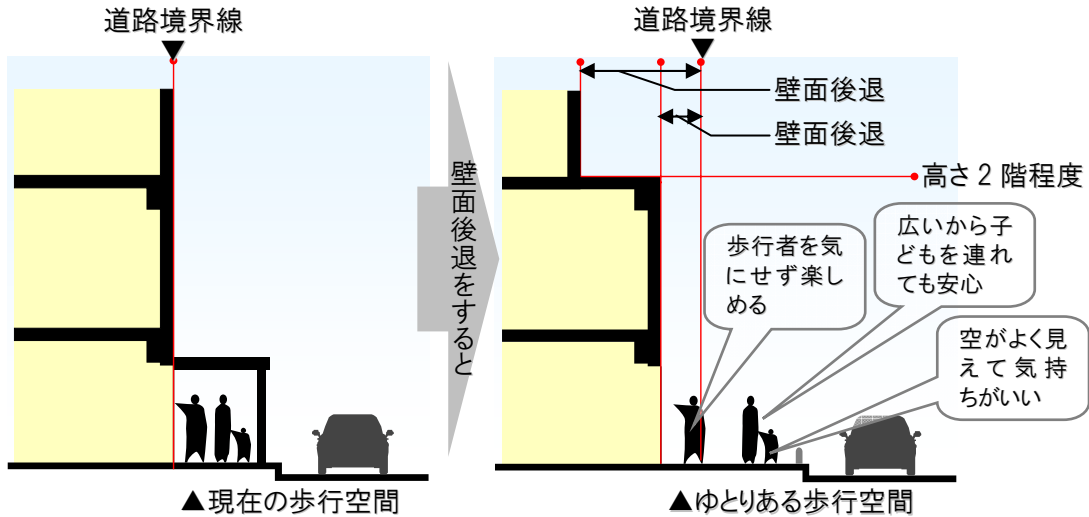


作法2 建物は、道路から後退させて配置しましょう

■ゆとりある歩行空間

今市地区の、日光市の中心商店街として、例えば、“ウィンドウショッピングを楽しむ人が歩行者等の通行の妨げにならない”“ベビーカーや車椅子利用者も快適に通行できる”、こんな誰もが快適に歩ける環境を整え、回遊性を高めていきたいものです。

そこで、ゆとりある歩行空間を確保するため、建物を沿道から後退させて配置するよう努めましょう。



■後退部分のしつらえ方

壁面後退によって創出した空間をより魅力的に、より有効に活用できるよう、壁面後退によって創出した空間には、歩行者等の妨げになるような看板やその他工作物を設置しないようにしましょう。

また、壁面後退によって創出した空間の舗装は、歩道部分や隣接する敷地と同じような舗装にするとともに、段差をなくすことで、空間として一体感や連続性が生まれ、より広い印象を与えます。



▲歩道部分と類似した舗装にすることで、歩行空間がより広く見えるようになります。(日光東町地区の例)

■眺望と壁面後退

沿道建物の壁面を雑段型にセットバックさせることで、まちから見える日光連山や杉並木の美しい景色や広い空を、より大きく借景することができます。

また、建物の高さおよそ3階以上の部分をさらに後退させることは、沿道建物のボリューム感を視覚的に低減させることにつながり、背景となる日光連山や杉並木がより引き立ちます。

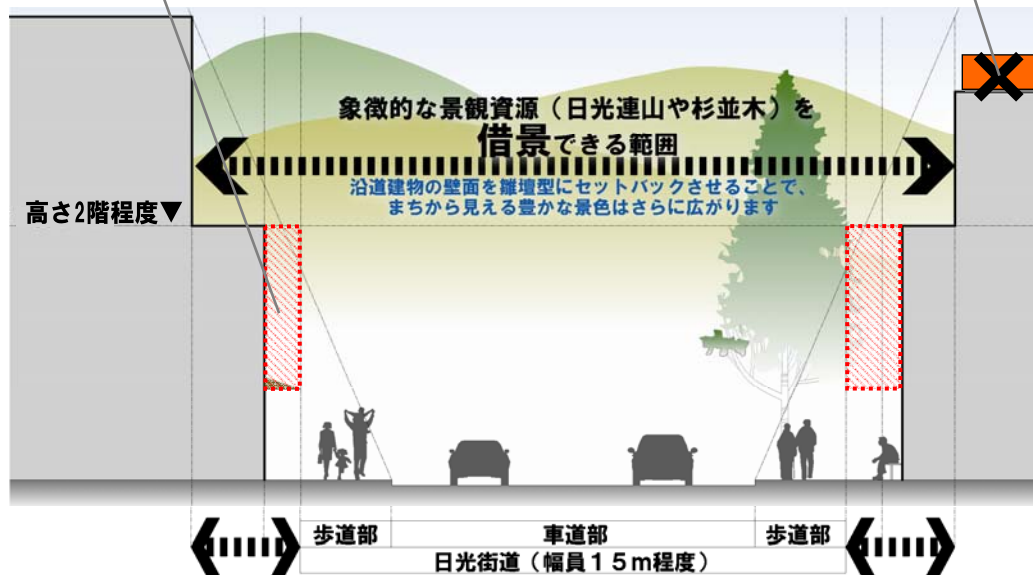
同時に、壁面後退による景観への効果をより高めるため、屋上広告物の設置は避け、突き出し看板や庇についても、その設置位置や規模に留意しましょう。



日光街道は、その直線上に日光連山や杉並木があり、これら豊かな景観資源を尊重した景観づくりを進めましょう。

突き出し看板や庇についても、その設置位置や規模に留意しましょう。

屋上広告物の設置は避けましょう



■現在の中心商店街からの眺望



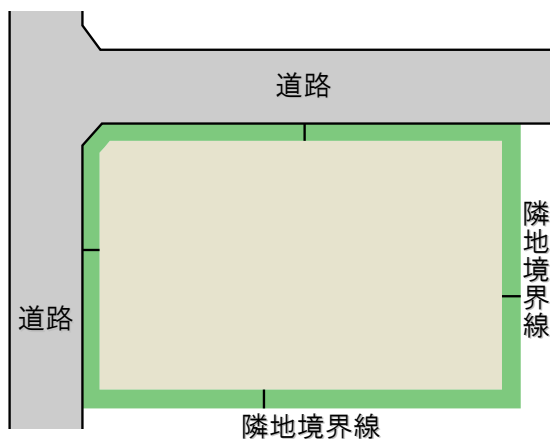
▲中心商店街から日光連山への眺望



▲中心商店街から杉並木への眺望

■壁面後退と緑化

建物を道路や隣地から後退させて配置することで、敷地内に植栽スペースが確保でき、日の光や風を取り込むゆとりある生活環境の創出につながります。



【敷地内緑化のイメージ例】



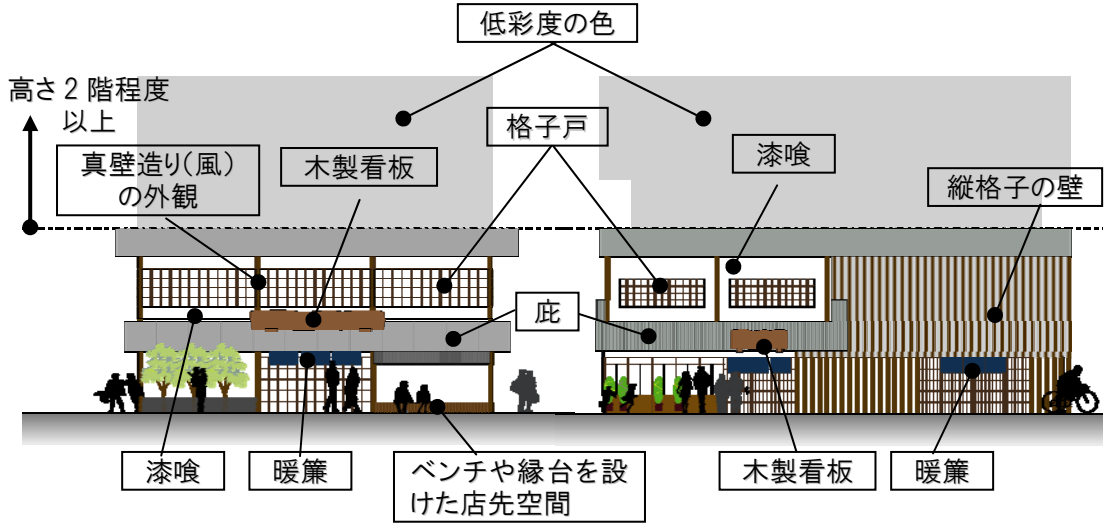
壁面後退部分は積極的に緑化し、緑豊かな街並みをつくりましょう。



作法3 建物等には、「和」のデザインを活用しましょう

■「和」のデザイン

今市の中心商店街は、街道沿いの宿場町として発展した歴史ある商業地です。まちの一体感や長い歴史を感じさせる街並みを形成するため、まち全体で建物の外観に「和」のデザインを積極的に取り入れていきましょう。



■地区内での「和」のデザインを取り入れた例



▲真壁造り風の外観の建物



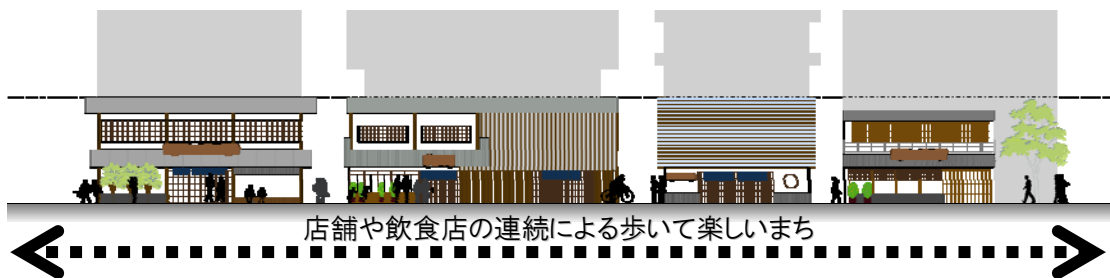
▲格子戸や庇を取り入れ、低彩度色でまとめられた建物



作法4 建物の低層部は、店舗を連続させましょう

■店舗の連続

沿道建物の低層部に、賑わいを創出する用途(店舗や飲食店等)を連続させることで、来街者等の回遊性を高め、歩いて楽しいまちの形成を図りましょう。

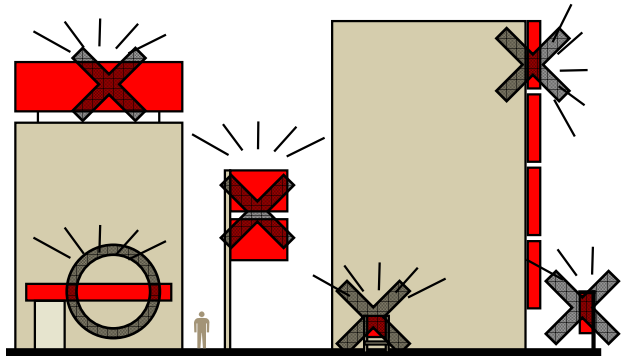




作法 5 参道については、突き出し看板や
工作物の設置は控えましょう

■社寺を引き立たせる参道

今市地区には、七福神を祀った7つの社寺や、二宮尊徳を祀った報徳二宮神社など、多くの社寺があります。また、その伝統と格式のある場所へ向かう参道も残されており、参道の先にある鳥居や門をより魅力的に見せるため、参道沿道の建物については、突き出し看板やその他工作物等を設置しないようにしましょう。



▲社寺への視線を遮らないような壁面を利用した看板等を用いましょう。

■現在の参道の状況

<如来寺>



▲如来寺正面



▲如来寺に続く参道

<報徳二宮神社>



▲報徳二宮神社正面



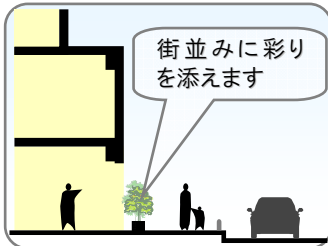
▲報徳二宮神社に続く参道



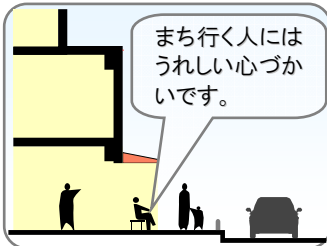
作法6 魅力的な店先空間を演出しましょう

■店先の演出

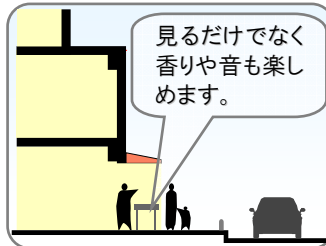
様々な方法で個々の店先を演出することで、魅力ある商店街をつくりましょう。



▲植栽による演出



▲ベンチ等の設置による交流・憩いのスペースの確保



▲建物の中と外の視線をつなぐような開放的な店構え

■地区内での店先の演出の例



▲店先にベンチを設けている例



▲ただベンチを設けるだけでなく、「たまり」をつくるような配置にしたり、お店の雰囲気を感じられる工夫をすると、より魅力的な空間になります。
(鬼怒川温泉地区の例)



▲大きなショーウィンドウを設けている例
(日光東町地区の例)



▲店先に植栽を設けている例

■閉じているときの考え方

お店を閉めているときも、閉鎖的なシャッターなどで隠してしまうのではなく、透過性のある仕様で、ショーウィンドウが見えたり、店内の照明が通りに漏れるようにすることで、商店街の連続性や魅力的な夜間景観を創出することができます。

